

報文発表時間割（1日目）

「A会場」10月28日

9報文

4階 メイプル

番号	座長	報文名	発表者	勤務先	発表時間	
A-1	新潟大学 土木工学部 佐伯竜彦 教授 建設学科	報文発表	亜硝酸リチウム内部圧入によるASR補修工法について ～中国地方及び北陸地方での施工事例～	北田 達也	極東興和（株）	14:30～14:45
A-2			流電陽極材を用いた腐食緩和工法を塩害劣化したプレテンション方式PC橋へ適用した事例	亀田 浩昭	金沢大学 自然科学研究科 環境デザイン学専攻	14:45～15:00
A-3			中空床版橋（有金ランプ橋）の補修設計における事例報告 － RC中空床版橋の床版抜け落ち予防調査・補修対策の方針 －	来住南 希	北陸地方整備局 富山河川国道事務所	15:00～15:15
A-4			狭隘部での金属溶射方法の適用のための基礎的検討	寺田 智子	(株) デーロス・ジャパン	15:15～15:30
A-5			橋梁補修における利便性を向上した排水管の取り組み －プレート一体型のステンレス製排水管－	奥澤 孝将	(株) トーカイスパイラル	15:30～15:45
休憩（15:45～16:15）						
A-6	富山市・河野哲也 准教授 デザイン学科	討議セッション	新技術と特殊高所技術の協働による橋梁点検の提案 －新技術活用実装のための特殊高所技術の活用－	片村 文崇	(株) 特殊高所技術 東京営業所	16:15～17:30
A-7			橋梁点検用マルチコプタ「マルコム」の研究開発 －ドローンを用いた部材表面の点検写真の撮影－	小林 大	大日本コンサルタント（株） インフラ技術研究所	
A-8			次世代社会インフラ用ロボット（橋梁点検）のフィールド試行と今後の展開	畑山 啓	北陸地方整備局 企画部	
A-9			「インフラ統合データベースシステムを用いた橋梁の維持管理」をテーマにした高校生対象の人材養成プログラム	山田 真由	福井県立敦賀高等学校	
討議						

「B会場」10月28日

9報文

5階 常磐の間(A)

番号	座長	報文名	発表者	勤務先	発表時間	
B-1	長岡技術科学大学 下村匠 工学部 教授	報文発表	内部挿入型流電陽極を用いた鋼材腐食緩和工法の施工事例の紹介	深川 直利	(株) ビーエス三菱 技術本部 技術部 メンテナンス技術グループ	14:30～14:45
B-2			新潟国道事務所版橋梁補修要領（案）について	木村 梨琴	北陸地方整備局 新潟国道事務所	14:45～15:00
B-3			凍害劣化したRC部材の耐衝撃挙動について	栗橋 祐介	金沢大学 理工研究域 地球社会基盤学系	15:00～15:15
B-4			影響線に着目した道路橋の劣化度評価に向けた基礎的検討	小野 凌平	金沢大学大学院 自然科学研究科 環境デザイン学専攻	15:15～15:30
B-5			小型打撃試験装置を用いた道路橋遊間部の衝撃弾性波試験	志田 爲御	首都大学東京大学院 都市環境 科学研究科 都市基盤環境学域	15:30～15:45
休憩（15:45～16:15）						
B-6	金沢工業大学 花岡大伸 工学部 講師	討議セッション	PC鋼材の腐食抑制効果を向上させたグラウト注入工法の開発と施工報告	北野 勇一	川田建設（株）	16:15～17:30
B-7			PC鋼材や鉄筋の配置状況の異なるPC橋での漏洩磁束法による破断調査報告	栗原 勇樹	(株) 日本ビーエス	
B-8			劣化したPC箱桁橋の耐荷力に関する検討	空閑 健作	中日本高速道路（株）金沢支社	
B-9			維持管理に向けた妙高大橋の構造解析検討	大谷 拓矢	大日本コンサルタント（株） 北陸支社 新潟事務所 技術室	
討議						

報文発表時間割（1日目）

「C会場」10月28日
5階 常盤の間(B)

9報文

番号	座長	報文名	発表者	勤務先	発表時間
C-1	金沢大学 深田 幸史 地球社会基盤工学系 教授	高耐力マイクロパイルによる既設橋梁基礎の補強 -狭隘地、空頭制限下で施工可能な小口径杭工法-	稲富 芳寿	高耐力マイクロパイル研究会	14:30~14:45
C-2		金属サンドイッチパネル製多機能防食デッキを採用した鋼桁内部空間の腐食環境報告	立花 周作	日鉄エンジニアリング (株) 西日本支社	14:45~15:00
C-3		歴史ある木橋の復元計画における留意点	濱田 康行	(株) 国土開発センター 設計事業部設計1部	15:00~15:15
C-4		北陸で初めての直轄診断	中村 俊貴	北陸地方整備局 道路部	15:15~15:30
C-5		鋼桁RC床版のたわみ測定と力学的特性について	笠原 祐介	(株) ネクスコ・エンジニアリング新潟	15:30~15:45
休憩 (15:45~16:15)					
C-6	長岡技術科学大学 岩崎 英治 環境社会基盤工学専攻 工学部 教授	レーザークリーニングを用いた北陸自動車道金沢高架橋塗替塗装工事について -新しいレーザークリーニングCoolLaser-	古牧 雄二	(株) トヨコー CoolLaser事業部	16:15~17:30
C-7		北陸塩害地域の塗替え塗装に適用するプラスト機材に求められる性能について	片藤 清士	合同会社管理技術	
C-8		部分塗替えを基本とした鋼橋の塗装塗替え計画の検討	遠間 将太	北陸地方整備局 長岡国道事務所	
C-9		観光都市金沢の繁華街で老朽化した犀川大橋の補修工事 -厳しい施工条件下でのECI方式採用工事-	杉本 浩士	川田工業 (株) 北陸事業部	
		討議			

「D会場」10月28日
3階 悠久の間

5報文

番号	座長	報文名	発表者	勤務先	発表時間
D-1	富山市 鈴木 康夫 交通都市デザイン学 教授	すべり係数確保を目的とした高力ボルト摩擦接合面に塗布する錆促進剤の開発 -錆促進剤塗布後の曝露期間に着目したすべり試験-	吉岡 夏樹	(株) 駒井ハルテック 橋梁営業技術本部 橋梁設計部 東京設計課	14:30~14:45
D-2		供用下にある橋梁の拡幅工事 【甲子こ線橋 (拡幅工事)】	加藤 高弘	佐藤鉄工(株) 橋梁事業部 建設グループ	14:45~15:00
D-3		腐食劣化の生じた鋼I桁橋のシステム冗長性を考慮した耐荷性能評価に関する解析的検討 -全橋FEM解析によるシステム冗長性を考慮した耐荷性能の検討-	有村 健太郎	(株) オリエンタルコンサルタンツ 関東支社構造部	15:00~15:15
D-4		橋梁の長寿命化および維持管理のための多機能桁カバー ~桁カバー材の耐荷性能について~	永田 考	(株) 横河ブリッジ 東京営業第二部	15:15~15:30
D-5		車両衝突による手取川橋の補修工事 軸力制御による破損部材の取替	結城 哲也	(株) 北都鉄工 生産本部 鉄構工事部	15:30~15:45

報文発表時間割（2日目）

「A会場」10月29日

3報文

4階 メイプル

番号	座長	報文名	発表者	勤務先	発表時間
A-10	地球金沢社会基盤工学研究システム系准助教 久保善司 報文発表表	アラミドFRPロッドを用いた耐震補強 -開橋-	さとう のぶお 佐藤 伸夫	三井住友建設（株）中部支店 土木部 技術グループ	8:45~9:00
A-11		海岸沿いに架橋された床板橋（PC-I桁）の横締めPC鋼棒が破断、突出した事例の補修設計および施工についての報告	あきおか たけし 浅岡 毅	アルスコンサルタント（株） 技術1部	9:00~9:15
A-12		RC構造物に用いる鉄筋腐食抑制剤と連続シートとの付着性能及び実施例	こばやし とおる 小林 徹	(株) レックス	9:15~9:30

「B会場」10月29日

3報文

5階 常磐の間(A)

番号	座長	報文名	発表者	勤務先	発表時間
B-10	地球金沢社会基盤工学研究システム系准助教 栗橋 祐介 報文発表表	STEP工法による仮締切工 -向本折大橋の施工-	いわさわ けいすけ 岩澤 啓介	オリエンタル白石（株） 東京支店	8:45~9:00
B-11		道路橋床版の維持管理の効率化に関する研究 -衝撃荷重を用いた耐荷性能の評価-	よこやま ひろし 横山 広	大日本コンサルタント（株） インフラ技術研究所	9:00~9:15
B-12		塩害により劣化したPC箱桁橋におけるPC鋼材の調査	たかばな よしひろ 橋 吉宏	中日本ハイウェイ・エンジニア リング名古屋（株）金沢支店	9:15~9:30

「C会場」10月29日

3報文

5階 常磐の間(B)

番号	座長	報文名	発表者	勤務先	発表時間
C-10	金沢工業大学 環境土木工学部 田中 泰司 報文発表表	携帯型蛍光X線分析装置を使用した硬化コンクリートの塩化物量の測定	さとう こうさく 佐藤 幸作	診断技術（株）	8:45~9:00
C-11		炭素繊維プレート緊張材を用いた橋梁の補強 - 最近の事例 -	たてがみ ひさお 立神 久雄	ドービー建設工業（株） 営業統括部 技術開発部	9:00~9:15
C-12		国道160号大間川橋における横締めPC鋼棒の突出事象への対応について	いちはら ひろゆき 市原 寛之	北陸地方整備局 金沢河川国道事務所	9:15~9:30

「D会場」10月29日

3報文

3階 悠久の間

番号	座長	報文名	発表者	勤務先	発表時間
D-6	地球金沢社会基盤工学研究システム系准助教 柳田 龍平 報文発表表	国道8号に架かる塩害橋梁架替え事業	さんご あきよし 三五 彬喜	北陸地方整備局 高田河川国道事務所	8:45~9:00
D-7		北陸地方の市町村が管理する短支間橋梁に対する維持管理の効率化に関する一提案	みやざと しんいち 宮里 心一	金沢工業大学	9:00~9:15
D-8		高機能塗料による橋梁遊間の止水工法の開発	かめたに さとし 亀谷 聡	KFケミカル（株）	9:15~9:30

報文集掲載報文(口頭発表はありません)

番号	報 文 名	著者名	勤務先
調査・研究 1報文			
H-1	橋梁の床板非破壊検査の手引きについて	たけだ 武田 たつや 達也	北陸地方整備局 北陸技術事務所
点検・設計・計画 2報文			
H-2	統合管理データベースを用いた強靱な社会基盤システムの構築	ふかだ 深田 きいじ 幸史	金沢大学 理工研究域 地球社会基盤学系
H-3	関越自動車道 塩殿橋(鋼トラス橋)における点検・調査について	こじま 小島 たかゆき 崇幸	東日本高速道路(株)新潟支社 湯沢管理事務所
施工・維持管理 9報文			
H-4	北陸自動車道高瀬橋(上り線)の床版取替工事時の交通運用について	なるしま 成嶋 しんいち 晋一	東日本高速道路(株)新潟支社 長岡管理事務所
H-5	北陸地方に適した高浸透型複合防水工法	やなぎさわ 柳澤 あつし 淳史	(株)NIPPPO 北信越支店
H-6	海岸沿いのポストテンションPC単純T桁橋の補修・補強 —架設後45年経過した損傷桁を長寿命化—	あずま 東 たけし 武史	(株)日本ピーエス
H-7	全国初の北陸版メンテナンス年報の公表について	おおかわ 大河 ひろすけ 滉典	北陸地方整備局 道路部
H-8	一般県道藪田下田子線〔北の橋〕架け替え事業について —現橋梁位置での架け替え事業—	しろかわ 城川 てるあき 輝明	富山県高岡土木センター 氷見土木事務所 工務課 道路 班
H-9	関越自動車道松川橋上下部一体のリニューアルプロジェクト	たかしま 高嶋 たくぞう 卓造	東日本高速道路(株)新潟支社 湯沢管理事務所
H-10	橋梁に害をもたらす水 —桁端部における床版排水—	くわばら 桑原 なおき 直樹	中大実業(株)
H-11	滞流水から橋梁を守る —一次世代の床版排水パイプ—	おおい 御囲 さおり 彩織	中大実業(株)
H-12	国道18号妙高大橋のニューマチックケーソン基礎の施工について	なか 中 ゆうたろう 友太郎	北陸地方整備局 高田河川国道事務所
材料 1報文			
H-13	小規模橋梁を対象にした伸縮装置及び床版防水の一体化工法 ARCHIST ONEPIECE-GEL SYSTEM工法	ながた 永田 よしひろ 善裕	リノブリッジ(株)
広報・担い手確保・人材育成 1報文			
H-14	持続的かつ適正な橋梁マネジメントの実現に向けて ～情報発信の取り組み～	うつ 宇津 のりひろ 徳浩	富山市 建設部 橋りょう保全対策課